

平成26年10月1日

近畿中国森林管理局

「伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・生育実証」と
シカ被害対策研究の成果と課題についての現地検討会の開催について

近畿中国森林管理局では、公益重視の管理経営の一層の推進や森林・林業再生に向けた民有林と連携した森林整備、林産物の安定供給等に取り組んでいます。

特に、技術開発については、林業の低コスト化に向けた取組の推進を図るとともに、その成果を国有林野の管理経営や民有林における普及・定着に積極的に取り組んでいるところです。

このようなことから、近畿中国森林管理局と独立行政法人森林総合研究所関西支所が共同で実施してきた「ヒノキ実生コンテナ苗による低コスト造林技術の開発研究」及びこれまで研究されてきた「シカ被害対策研究」の成果と課題を民有林関係者（府県・市町村担当者、府県の研究機関職員、森林組合職員等）に情報提供を行うとともに、コンテナ苗等を植栽した現地において、意見交換を実施し、成果の普及と定着の促進を図ることとしています。

問合せ先

近畿中国森林管理局 技術普及課

企画官（技術開発・普及） 積（せき）

企画官（民有林連携） 倉石（くらいし）

TEL 06-6881-3485、3524

(別紙)

「伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・生育実証」とシカ
被害対策研究の成果と課題についての現地検討会

1. 日時

平成26年10月9日(木)～平成26年10月10日(金)

2. 場所

J A阿新農業協同組合会館(岡山県新見市)
三光山国有林591り林小班(岡山県新見市)

3. 内容

(1)平成26年10月9日(木)

- ① コンテナ苗の活着・生育実証研究の成果と課題
- ② シカ被害対策研究の現状と課題
- ③ 林野庁・近畿中国森林管理局からの情報提供
- ④ 意見交換

(2)平成26年10月10日(金)

- ① 現地検討会 (三光山国有林)

4. 出席者

府県・市町村担当者、府県の研究機関職員、森林組合職員、森林総合研究所関西支所職員、林野庁職員、近畿中国森林管理局職員等